

平成30年度学校評価（評価結果）

本年度の重点目標		・各部、各校務分掌が学校運営の中心となり、児童生徒の発達段階及び障害特性に応じたきめ細やかな教育を行う。		
項目(担当)		重点目標	具体的方策	評価結果と課題
小学部	基本的な生活習慣の育成	指導目標、指導内容、指導形態の検討	学習指導要領改訂の趣旨や内容を共通理解し、授業や行事を構築する。	・新学習指導要領の内容を踏まえた小学部のねらいと各学年の系統性について、共通理解を図りながら実践を行うことができた。必要に応じてケース会を行い、指導方法の改善を図った。また実践の振り返りをもとに、客観的なアセスメントやエビデンスに基づいた指導ができるように研修を進めている。
	安全管理	けがや感染症等の予防	予防の観点から、環境整備や点検、手洗い、うがい等の支援を日常化する。	・教室からの飛び出し事案について、原因の究明と再発防止策を考えたことで、再発を防ぐことができた。感染症については、手洗いとうがい、及び換気を意識的に行うことで、感染の拡大を防ぐことができた。次年度は年度初めに、特に配慮が必要な児童について、部内で情報の共有を行う。
	業務の効率化	教材作り、資料作り等の時間の効率化	教材等の保管を計画的に進め、学校の財産として活用する。	・タブレット端末を使った教材を、各学年の児童のニーズや実態に合わせて作成し、授業で活用することができた。次年度はタブレット端末教材のデータの共有方法と、教材の保管方法の工夫について検討する。
中学部	キャリア教育の推進	意欲を引き出す授業作り	自己肯定を高める授業作りを推進する。	・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒自ら主体的に学べる授業を積極的に行った。特に各教科等を合わせた指導においては、自ら考え学ぶことで、生徒たちの現在の生活の充実だけでなく、将来の自立につながるような力を育成することができた。
	安全指導	自らの危険を回避する力の育成	日常生活の中で起こりうる危険について、具体的な場面を提示し、意識の向上を図る。	・実際の生活場面に近い形での交通安全学習を行った。泊を伴う行事や校外学習の際には学習の生活を実際の場面で生かすことができた。次年度は、全体での指導に加え、個人個人の目標に即した形での実施も検討している。
	行事の精選	行事についての検討	学校として取り組むべき行事についての検討を行う。	・泊を伴う行事及び各学年における校外学習の目標や内容を精査し、系統性を意識して立案をし実施をした。次年度は自然体験活動を行ったり、適切な集団行動をしたりすることをねらい、2年次の秋に野外活動を実施する予定である。
高等部	実践力の育成	社会生活につながる授業の工夫	それぞれの教育課程に応じた授業内容、支援方法等について検証する。	・自立活動をはじめ各教科の授業において、コミュニケーションの取り方、情緒の安定の図り方の学習や友達との話し合いの場面を設けるなど、他者との関わりで必要とされる力を題材や活動として取り入れた。毎授業において、生徒自身が振り返る時間を設け、「相手の気持ちを考えた言葉遣いを心がけたい」「私はこういう方法だと落ち着くことが分かった」などの感想が挙げられた。
	安全指導	けがや事故、感染症等の未然防止と対処	事故や感染症に関する情報の共有化と、未然防止のための指導や環境整備に努める。	・自動車との接触や自転車での自損事故があり、個々に事故の原因や回避する方法を話し合った。部集会においても、全員に向けて安全に過ごすための学習を行った。また、手洗いうがいの励行や流行の状況を伝えることで、生徒自身にマスクの着用や早めの就寝など、自己の健康管理を意識する姿も見られた。
	業務整理	業務分担と効率化の推進	計画的な業務の遂行、効率化を考えた処理方法について検討する。	・部内の検討事項をまず各学年会で図り、その後部全体の会議で審議するようにした。また、各学年において各教科担当を決め、グループ間の単元調整や教務とのやりとりなどを行った。ルートや方法を工夫することで効率化を図ることができた。 ・今年度、行事や指導面で明確になった役割について、次年度はより適切に分担するようにし、生徒との関わりの時間をより確保できるようにしたい。
総務	運用及び管理	備品及び消耗品等の整備・管理	適切かつ運用しやすい物品の管理方法について検討する。	・開校に当たっての備品を配置し、運用を行ってきた。また、事務と連携し、備品の所在確認や消耗品の在庫確認等し、管理を行ってきた。備品の画像を含む備品一覧を作成し、職員に所在を周知し、有効に活用できるようにしていく。

教務	学習指導	教育課程の検討	12年間の系統性を意識した教育課程の検討を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、各部の授業時数や教科等について丁寧に見直し、検討を行った。各部とも新学習指導要領の改定を念頭に置き、それを基として、次部へのつながり、前部とのつながりも考慮して検討を行った。来年度からはそれを実践し、検証していく。</li> </ul>
教育情報	情報発信	ホームページの開設に向けた計画の作成	ホームページ開設に向け、掲載する内容の検討及び運用に仕方について計画を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校のホームページを開設し、大府もちのき特別支援学校を外部にアピールする準備を行った。開校記念式典や文化祭の様子を掲載し、本校の取り組みを発信することができた。今後も更新内容等を精選し、保護者や地域の中で共に成長していく学校について、定期的に発信していくようにしたい。</li> </ul>
研修	校内研修	校内研修計画の作成	必要性の高い内容を踏まえた研修計画を作成し、教員の指導力及び専門性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校務分掌と連携し、救急蘇生法など安全対策の内容や自立活動の現職研修を実施した。特に自立活動の研修については、基本的な考え方の共通理解した後、校内研究に繋げることで体制や内容などを話し合い、日々の指導への活用や専門性の向上を図ることができた。来年度、より充実した研修になるようアンケートで教員のニーズを把握して計画していきたい。</li> </ul>
生活指導	いじめへの予防と対処	校内体制の整備	児童生徒及び職員に対するいじめ防止についての意識の向上を図るとともに、校内の支援体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員にいじめの定義を周知したり、児童生徒に人権週間の時期に人権についての講話を行ったりした。7、11月に自力通学生は、「生活アンケート」を、他の児童生徒は、担任からの聞き取りや懇談会で保護者に確認を行った。アンケートで、友達の暴力的な言動等を不快に感じる回答があった。回答一覧を学年職員で確認し、個別に面談など行って問題解決に努めている。</li> </ul>
進路指導	キャリア教育	キャリア教育計画の作成	本校のキャリア教育計画を作成し、教育への周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校のキャリア教育全体計画を作成するに当たって、全職員に進路に関する情報を周知することが大切であると考えた。小・中学部では、本校周辺の福祉事業所の概要を一覧にし、進路に関する研修等を計画した。高等部では、積極的に企業や福祉事業所と連絡を図り、職員に業務内容や求められる力について周知を図った。今後、職員から意見を収集し、卒業後の生活を見通した12年間の系統性をもった計画を作成していく。</li> </ul>
保健体育	学校保健	校内体制の整備	服薬の扱いや救急時の対応等について、本校におけるマニュアルを作成し、職員への周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健関係書類の整備・運用を進めた。現行の書式の改善を行いより充実した保健管理を目指す。各教室の清掃道具を、今後は可能な限り増やしていきたい。アレルギーや再調理、調理活動願いなど色々な届を作成した。今後は、職員により広く周知していきたい。</li> </ul>
相談支援	相談支援	「よつば相談」の開設	地域の障害のあるお子さんや関係者を対象とした「よつば相談」の開設に向けた計画を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特別支援教育等に関する相談・情報提供機能として、相談体制を整備し、広報活動を経て、7月より「よつば相談」を開設した。小中学校の教職員及び保護者からの相談依頼が多く、学校での支援方法が主な内容であった。相談を機に地域の小中学校との連携を始めることができたので、今後も、様々な相談に対応するために、地域の教育の情報を得て、関係機関との連携を深めていきたい。</li> </ul>
総合評価				<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体として、「児童生徒の発達段階及び障害特性に応じたきめ細やかな教育を行うことについて」をテーマに、小学部は基本的な生活習慣の育成、中学部はキャリア教育の推進、高等部は社会生活につながるコミュニケーション力の育成に重点を置き教育活動を進めてきた。また安心、安全な教育環境を整える上で、いじめ予防や緊急時の対応、等を進めてきた。しかし、保護者を対象として行った「本校教育へのアンケート」の回答の検証から、保護者に対する情報提供について十分でなかった面があることが推測されるので、今後の課題として、保護者会や各種説明等を十分に活用し、情報発信を積極的に進めていく。</li> <li>職員の資質向上をねらいとして、校内研修（キャリア教育計画、新学習指導要領の改訂等）を計画的に実施した。また、外部への発信という点では、ホームページを立ち上げるとともに、相談支援事業として、市町の関係教育機関やその保護者を対象とした「よつば相談」開設をし、センター的機能を果たすべく支援体制を整えた。今後、さらなる充実を図っていく。</li> </ul>

